

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年08月19日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科ファイナンスインシュアランスコース
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2018年05月～2018年08月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年08月17日
明治大学卒業予定年	2021年03月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8～12月 2学期:1～5月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	29,000人
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	\$8207.67	円	
宿舍費	\$5300	円	
食費	約\$200 (宿泊費に含まれていない分。寮の外で食べた合計)	円	
図書費	約\$110 (履修教科による)	円	
学用品費	\$35	円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		¥27215円	形態:明治大学で強制加入させられるもの
渡航旅費		¥209350円	JAL エコノミークラス
雑費		¥50000円	買い物代(娯楽)
その他	\$200	円	フィールドワーク交通費など
その他	\$700	円	外出費
その他		円	
合計		円	

## 渡航関連

渡航経路:飛行機(JAL)

渡航費用

チケットの種類 エコノミークラス

往路

復路

合計 ¥209350

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

JAL

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮(International House)

2)部屋の形態

 個室 OR  相部屋(同居人数 1人)

3)住居を探した方法:

最もメジャーな宿という口コミ。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ごはんがハイカロリーですが、この寮のごはんがこの地域の寮の中で一番健康的です。人の髪の毛やプラスチック片、ハエの死骸などの異物混入がたまにあります。シャワーやトイレは毎日清掃していただけるので綺麗で清潔ですがたまにマナーの悪い人が汚すことがあります。寮の管理人は基本的に親切なので言えば何でも対応してくれます。私の部屋は網戸が壊れていて虫がたくさん入ってくるので困っていたのですが、相談したら翌日には網戸を取り付けてもらえました。寮のコピー機が壊れた時も 2 日ほどで新しいコピー機が届きました。たばこやマリファナは寮内禁止されているはずなのに吸っている人がいて苦しかったです。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友達

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

旅レジ。貴重品は肌身離さず身につける。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の wifi はハイクオリティー。だが稀に全く繋がらなくなることもあった。周りの子の wifi も皆全滅だった。原因は分からないが 2 日ほどで復旧した。基本的にはテザリングができるタイプの SIM を買っておけば寮の wifi に振り回されることもないし授業に支障が出ることもないのでテザリングができるタイプのものを強くお勧めする。また、大学にも wifi が通るので何かと便利。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の口座に親からお金を振り込んでもらってデビットカードを使用(ほかにもクレジットカードを 3 枚携帯。私は VISA を使用していて何不自由がなかったが、JCB はほぼ使えないので JCB しか持っていない人は VISA を作るべき。)

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

メディキュット、日本語の参考書、スプレータイプの日焼け止め、サトウのごはん、イヤリング(ピアスしか売ってない)、そうめん(カップラーメンは買える)、小さいジップロック(小銭をまとめられて便利)  
(寮の近くに DAISO があるので基本的には何でも揃う)、のり・はさみ・電卓(日本クオリティのもの)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

渡航前にネット上で留学先大学宛にクレジットカードで支払った

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他:就職活動中
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
みんな使ってるアプリー通り
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
金融業界
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就活早期化の中で3年生のこの時期に留学に行くことに不安を覚えている方も多いと思います。しかし、実際このプログラムに参加しているほとんどは3年生です。私は留学がしたい気持ちと就活に対する不安が両方あったので、この留学が始まる前にセミナー・選考会・説明会・インターン説明会・OBOG訪問・早期インターン選考の面接は一通り全部しました。ESなどのガクチカや自己分析なども済ませ、メンターに添削もしてもらいました。その甲斐もあって、勉強が本当に忙しい中でもインターンのESなどを提出(ガクチカなどはすでにあるものをコピーするだけなので。)したり両立することができ、帰国後も夏のインターンに3～5個ほど参加できることになりました。もしも「なんとなくこの時期の留学は就活に差し支えそう」という理由だけでこのプログラムを躊躇している人がいるなら、できることは沢山あるし、パークレーのプログラムであれば夏のインターンに参加することもできるということだけ覚えていただきたいと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Finance	金融総論
科目設置学部・研究科	Haas school of business
履修期間	SessionA
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture が週 3 回・Discussion が週 2 回(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が5回
担当教授	John Gonzales
授業内容	債券(Annuity/Perpetuity)・株式の理論価格の算定がメイン。比較評価と株式のバリュエーションも少し。中間試験以降はIntroduction to corporate financeの範囲をやってもらえるのでお得感あり。ただ、その分信じられないくらいカリキュラムのスピードが速いため予備知識が0の人にはお勧めしません。
試験・課題など	課題は教科書の練習問題が指定されて解くものが週に1回。試験は金融用語の定義と計算問題。中間試験1回と期末試験
感想を自由記入	とても役に立ちます。教え方がうまいからわかりやすい。ただ、「Introduction」とはいえ予備知識が全くない状態で履修するのはお勧めできません。クラスは日本人私一人だけでした。債券・株式・デリバティブの仕組みや基礎的な会計用語は全て押さえておきましょう。週5日の授業でとてもつらいですが、金融専攻の人にはお勧めです。商学部であれば和泉開講科目である小原先生の金融総論を春・秋で履修しておくのがお勧めです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Financial Institutions and Markets	金融機関論と金融市場論
科目設置学部・研究科	Haas school of business
履修期間	SessionA
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture が週に 3 回と Discussion が週に 1 回(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に150分が4回
担当教授	Sam Olesky
授業内容	Fed を中心として、CommercialBank や InvestmentBank、SavingInstitutions などアメリカの金融機関
試験・課題など	課題は Pearson という教科書アプリケーション。一日一章読んで、アプリ上で小テストを受ける。毎日出る。きつい。私のリーディング力不足もあるが、毎日朝の 4 時までかけて終わらせる生活を 6 週間続けた。試験: 中間テストは「Institutions」という範囲で論述問題が20題。期末テストは「Markets」という範囲で論述が 10 題。テストは持ち込み厳禁で、いつもと違う教室を貸し切って完全監視の中行われる。ただ、問題文の意味が分からないときは手を挙げて質問すればわかりやすく言い換えてくれる
感想を自由記入	日本人はクラスに私だけでした。生徒思いで良心的な先生。授業は(必死に終わらせた)課題のレビューのような形なので少し退屈、そして(早朝まで課題をやらなければならぬため)眠い。しかしこの授業の素晴らしいところはゲストスピーカーがたくさん来てくれるところ。Commercial Bank の講義の時は WellsFargo から、Mutual Fund の時はライムから、InvestmentBank の講義の時はなんと Bank of Amerika メリルからゲストスピーカーに来ていただけました。ゲストスピーカーが豪華すぎてモチベーションも上がる。課題が大変すぎることを除けば値段相応、値段以上の価値のある授業。今年は pearson(課題)アプリケーションに問題があつて正常に課題が提出できない人が続出したため、来年からは課題の形式を変えると最後の授業でおっしゃっていた。アメリカの金融機関を勉強するのは帰国後微妙かと思っていたのだが、話題の LIBOR 崩壊の話が授業で触れられ、「だからきっとアメリカがこれからの金融の中心になる」と先生が講義でおっしゃっていて本当にその通りだと思ったので、悩んでいる人は是非。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Corporate Finance and Financial analysis	コーポレートファイナンス
科目設置学部・研究科	Haas school of business
履修期間	SessionD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture が週に 3 回と Discussion が週に1回(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に150分が4回
担当教授	Avinash Velma
授業内容	コーポレートファイナンスについて。
試験・課題など	単元が終わるごとに課題が出る。先生の授業配分の仕方によって中間テスト直前に一気に宿題が二個出されたりする。試験は課題が解ける程度に理解していれば基本的に大丈夫。100 パーセント計算問題。中間試験が一回と期末試験が1回で宿題は全 6 回をネットで提出
感想を自由記入	コーポレートファイナンスは留学ならではの科目だと思います。やはり世界トップレベルの大学に来たなあという気持ちになります。授業の最初に先生が「この中で金融専攻でない、または金融の授業を履修したことがない人はいますか」と聞いた際に、60 人中 1 人しか手を挙げてなかったので、もしも取りたい人は SessionA で Introduction to Finance を履修しておくことをおすすめします。ちなみに日本人はクラスで私だけでした。あとは、乗数やネイピア数が計算できるタイプの計算機が必要なので持参必須(無いと支障が出ます)。商学部であれば朝岡先生のコーポレートファイナンスに振り替えることになると思いますが、朝岡先生もバークレーの出身なのでとても親身に対応してくださいます。教授の Velma 教授はとてもいい人で、授業中の生徒の質問にも全力で時間を割いて答えてくださいます。そして生徒を全員平等に扱ってくださいます。テストで電子辞書(ただしインターネットにつながらないもの)の持ち込みを許可して下さるような、留学生への配慮もある方です。宿題も迅速に採点してくれたうえで、「何が間違っているのか」を一人一人にコメント付きで送ってくださる素晴らしい方です。試験はノート持ち込み可ですが、その分大事な公式などはスライドにアップロードされません。(授業に出ない人でも試験問題が解けるのはおかしいという考えだそうです)でも授業をしっかりと聞いて課題をまじめに解けば正當に評価して下さいます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Special Topics in Financial derivatives	金融派生商品
科目設置学部・研究科	Haas school of business
履修期間	SessionD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture が週に 3 回(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Konstantin Magin
授業内容	ブラックショールズ方程式を使用したオプション取引の価格算定と Greek を使用した金融派生商品取引。
試験・課題など	中間試験が二回と、期末試験が一回。たまに授業中に credit extra に関する質問が出されて、その答えをメールで教授に送信してあつていれば credit extra が得られる。
感想を自由記入	4 教科受けた中で最も難解な教科で最も不可解な教授。とにかく難しく、MBA レベルの内容。基本的な統計学は確実に履修しておくべき。私は統計学を履修していなかったので、とにかく自分で調べたり総合数理の友達に LINE で連絡を取って教えてもらうなどしてなんとか理解した。日曜日に中間試験問題がネット上にアップされ、それを基に木曜日までに提出する形式の試験だったため、オープンインターネット・オープンノートという非常に珍しい試験ではあるが、だからといって簡単なわけではないので安易に履修しないように勧める。クラスに日本人が私一人だったのがとてもよかった。この授業は周りとの協力なしには絶対に単位取得できない。私は香港大学の学生と仲良くなって、毎晩その子の部屋で 4 人集まって問題を討論しあう日々をずっと送っていた。オープンインターネット・オープンノートにするからにはそれなりに理由があるなと思った。試験問題は、もちろん、授業の内容も教授の研究範囲なので、ネットにも答えが無い。授業中と放課後に講義の内容をしっかりと理解し、友達を作って協力し合っ て問題をゴリゴリ解いていく根気と体力が必要。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business English for multilingual student	ビジネスイングリッシュ
科目設置学部・研究科	
履修期間	SessionD
単位数	一日目で授業を変更したためなし。
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Aida Corpuz,
授業内容	ビジネスイングリッシュ
試験・課題など	試験はなく平常点で評価だったような記憶。
感想を自由記入	あまりの睡眠不足で、プレイスマンテストで悪い点を取ってしまい、レベルの高くないクラスに配置されました。初日の授業で周りの学生があまりにも話せず、授業のレベルも少し低く感じたので Special Topic in finance に履修変更しました。語学学校に行くのと同じレベルで、パークレーで履修する価値は個人的には感じませんでした。ただ、プレイスマンテストをまじめにしっかりと解けばそれなりに高いクラスに配置されると思います。実際、周りの明治の子たちは履修していたので、こういう場合もあるということだけ伝えたいです。とはいえクラスの子たちはみんないい人ばかりでした。パークレーで何を 得たいのか、何がしたいのかが明確だと、このような場合もすんなり履修変更の覚悟が決まるのでお勧めです。授業のスピードがとても速いため、履修変更しようか迷っている間にどんどん授業が難しくなっていきます。私は初日に「違うな」と思い、その日の午後 に気になってた授業を受けに行ってすぐに変更したので周りとの差がつくことはありませんでした。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	大学一年生。入学。
8月～9月	
10月～12月	一年間大学生生活を満喫し、正月のタイミングで一年を振り返り、「なにか、今しかできないことをやりたい」と思い始める。
2018年 1月～3月	パークレーのプログラムの存在を知り、興味を持つが TOEIC の点数が足りず断念し一年間勉強に徹することを決める
4月～7月	TOEIC アドバイザー横川綾子先生の面談を予約し、和泉校舎にて面談。面談後すぐにお勧めされた TOEIC の本を購入し、Listening3 周、Reading2 周くらい解く。同時並行で一カ月に一回毎月 TOEIC を受ける。
8月～9月	イギリスシェフィールド大学の短期語学研修に 40 日間参加。この時に 7 月の TOEIC の結果が届き、パークレー応募条件をクリア。
10月～12月	帰ってきてからも TOEIC の勉強を継続。TOEIC は Listening と Reading しかはかれないため、IELTS と TOEFL を受験。と同時に再度横川先生の面談を予約し、留学先の相談と、TOEIC の点数を今より伸ばすアドバイスをもらう。面談後すぐにおすすめされた本を買って解きまくる。この間も一カ月に一回毎月 TOEIC を受ける。
2019年 1月～3月	金融を本気で学びたいという気持ちが強かったため、よりよい金融授業を求め、様々な留学プログラムを学内外で調べまくる。結果、パークレーが金融の開講科目において一番充実していることを再認識し、正式に志望校をパークレーに決定。家族にも最終報告。そしてパークレー応募用紙提出。3 月からはオーストラリアの短期語学研修に 40 日間参加。
4月～7月	単純な英語力よりも、パークレーの勉強についていくことに念頭を置いて勉強を開始。会計専門用語を一通り英語で理解し、金融のビジネス書を 5 冊くらい読む。明治大学の授業(金融専攻なので金融科目)でお勧めされた参考文献などもすぐに本屋に行って読む。(明治の図書館はあまり金融の本が豊富じゃない)4 月から 5 月中旬まで、授業と自主勉強と就活に追われ一瞬で過ぎる。5 月の最終週からいよいよ留学開始。事前知識を詰め込んでいたのでなんとか授業にはついていけた。6 月の 4 週目の月曜日に SessionA の中間試験。理解はできていたものの、英語力不足であまりいい評価は取れず。7 月の 1 週目の水曜日に期末試験があつて SessionA が終了。SessionD が始まるまでの間にロサンゼルスに 4 日間のバケーションへ。7 月 2 週目から SessionD がスタート。7 月の 3 週目の木曜日と 4 週目の木曜日に中間試験。SessionA の時にコツがつかめたのでまずまずの結果。
8月～9月	留学終了。
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	金融をアメリカで学びたかったからです。金融の中心といえばイギリスですが、Brexitの関係で各商業・投資銀行が移転してしまい、LIBOR 存続も微妙な中、次に金融の中心であり高度な授業を受けられるのはアメリカだという気持ちから留学先をアメリカに絞って調べました。実際その考えは本当に正解だったと思います。パークレーの金融授業の質は本当に高いです。遊ぶ場所や誘惑が全くない立地で、勉強だけに集中できる空間は後にも先にも今だけだと思います。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前準備は全力を尽くしたので特にありません。英語力にはゴールがないことを認識して根気強く勉強し続けることが大切だと思います。私がやったことは、ざっくり3つ。英語勉強・金融科目の勉強や関連するビジネス書を読みまくる・留学後にできない就活対策などです。
この留学先を選んだ理由	アメリカが留学先となるプログラムの中で、最も金融科目が充実していたからです。ペンシルバニア大学などは金融科目が片手ほどしかなく、また、学外の私費留学のパークレープログラムは、パークレーの正規留学ではなく、エクステンションへの入学だった、など様々な理由からこのプログラムが一番私の希望を満たしていました。
大学・学生の雰囲気	SessionAの間は学生がとても少なく、寮も閑散としていました。SessionDからは沢山の中国人留学生が来て、寮もにぎやかになりました。図書館もいつも人で埋まっていました。留学生のレベルはとても高いです。寮の中でパークレー正規生の日本人と話す機会があり、普通なら経験しないような沢山の苦労話や面白い話を聞けてとても刺激を受けました。
寮の雰囲気	毎週水曜日にコーヒーアワーがあるようですが私は勉強が忙しく、一度もいきませんでした。寮の人はとても親切な方が多く、私の部屋の網戸が壊れていた時もすぐに対応してくれました。また、寮のコピー機が壊れた時もすぐに新品に交換するなど、とても迅速でした。
交友関係	SessionAの間は課題がとにかく忙しくてさらに月～金まで授業で埋まっており遊びに行く時間もなかったのですが、SessionDになって授業が変わって生活に余裕ができ、さらに授業で知り合ったカナダ人の女の子と毎週末フランスコに遊びに行くようになりました。クラスに日本人が一人もいない生活が6週間続いたので、日本語を使う機会も少なく、とてもよかったですと思います。最初は心細かったのですが、SessionDの初回授業で勇気を出して隣の子に積極的に話しかけたことで充実した時間を過ごすことができました。
困ったこと、大変だったこと	クラスに日本人がいなかったことです。途中から慣れましたが、初めは「自分だけが聞き取れなかった課題があるのではないか」と心配で気が気じゃなく、母国語を使えないもどかしさがありました。途中からむしろそれをきっかけに隣の子に話しかけることができたので上手く順応することができたように思います。
学習内容・勉強について	金融を専攻しているので金融科目を取っていました。母国語ですら難しいことを英語で習うことに不安があったので渡航前に金融の本をひたすら読んだりして勉強しました。その甲斐もあって、渡航直後の授業のスピードについていけない時期も、渡航前の勉強貯蓄があったのでなんとか黒板やスライドの情報から理解することができました。しばらくしたら耳も慣れ始めて、完ぺきとはいかずとも大体の授業を飲み込むことができました。「英語で何とかしなきゃいけない」というストレスは強かったですが、必死に食いつくうちに周りも協力的になり、無事にセッションを終えることができました。
課題・試験について	SessionAは課題の寮が膨大で押しつぶされそうになりました。とにかく毎日睡眠不足で、体のコンディションもいつも悪かったです。SessionDでは課題の寮も減り、スタディーグループを作って効率的に勉強することができるようになったのでどんなに忙しくても6時間は眠れるようになりました。課題を毎日コツコツと頑張っていた分、試験のために特別に徹夜したりすることはありませんでした。試験前は課題を見直して解けなかった問題に取り組んだり、ノートを見直す程度で臨みましたが、日頃の頑張りが自信に繋がり、緊張することなくテストを解くことができました。

大学外の活動について	大学外で交流することは特になかったです。飲み屋で友達ができる…など渡航前は想像していましたが、まずそのような場所に行く余裕はなく、また、犯罪なども怖いので、大学内で出来た同じクラスの友達やルームメイトと過ごしていました。
留学を志す人へ	特に目標もない、やりたいことも学びたいこともないけど留学はしてみたい、カッコいいという気持ちなら、バークレーに来ることはお勧めしません。私は沢山の学内外のプログラムを比較した結果に一番自分が納得いくまで金融を学べるバークレーというプログラムを選びました。だからこそ膨大な課題に心が折れそうになった時も金融科目を取ったことを後悔したことは一度もなかったし、自分は自分の出来る最大限の事をした、と言い切ることができます。逆に、やりたいことがはっきりとしていて、そのためにならどれだけでも頑張れるという人は是非バークレーを選んでほしいです。トップレベルの教育を受けるうちに自分の無知さ・未熟さと向き合えるし、3カ月も勉強のことだけ考えればいいという時間は必ず有意義なものになります。それは誰かに評価されるものでもなく、達成感だとか自信といった形で自分の宝になります。バークレーでたくさんのもので得られることを保証します。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	10時半～ 13時	10時半～ 13時	10時半～ 13時	10時半～ 13時	10時半～ 13時		9時起床
	授業	授業	授業	授業	授業	11時起床	アウトレットに遊びに行く
午後	15時半～ 18時	15時半～ 18時	15時半～ 18時	15時半～ 18時	お昼ごはん	11時半～	
	授業	授業	授業	授業	勉強	寮の食堂の ランチ	19時帰宅
夕刻	夜ごはん	夜ごはん	夜ごはん	夜ごはん	夜ごはん	夜ごはん	夜ごはん
夜	朝4時まで 課題	朝4時まで 課題	朝4時まで 課題	洗濯	勉強	勉強	早めに就寝